

# より広く より充実した 図書館を！

～亀山市立図書館整備基本構想～

図書館は幅広い年代にわたって親しまれている施設です。市では、図書館のサービス拡充を図り、より多くの皆さんに図書館を利用していただくために、図書館の整備拡充を進める基本的な考え方となる「亀山市立図書館整備基本構想」をとりまとめました。今回はその概要を紹介します。

**問合せ先** 教育委員会生涯学習室（☎84-5057）

## ■ 図書館の拡充にあたっての5つの方向性

- ① 親子・若年層に向けた読書活動をより厚く充実させること
- ② 利用困難者に向けた図書館サービスを充実させること
- ③ 市民ニーズだけではなく、学びの拠点にふさわしいサービスをめざすこと
- ④ 図書館の機能・設備を拡充すること
- ⑤ 図書館を核とした生涯学習としての学びと交流を展開すること

※市教育委員会は、昨年10月に、現在の図書館の課題と図書館の拡充にむけた上記の5つの方向性を整理しました。この方向性は「亀山市立図書館整備基本構想」の軸となっています。

## ■ 図書館の役割とは？

図書館の拡充にあたり、これまでの図書館の学びの場としての役割に加え、本や図書館から発信される情報を通じて、個人やグループ、地域社会などの課題や魅力に基づき、その解決や発信のための交流活動が人づくりやまちづくりに結び付いていく役割を付加していきます。



## ■ 新しい図書館の基本理念

### 『学びの場からつながる場へ』

これからの図書館は、本を軸とした学びの場であるだけでなく、さまざまな人々が学びを通して交流しまちを高めていく、今までの概念を超えた図書館をめざしていきます。

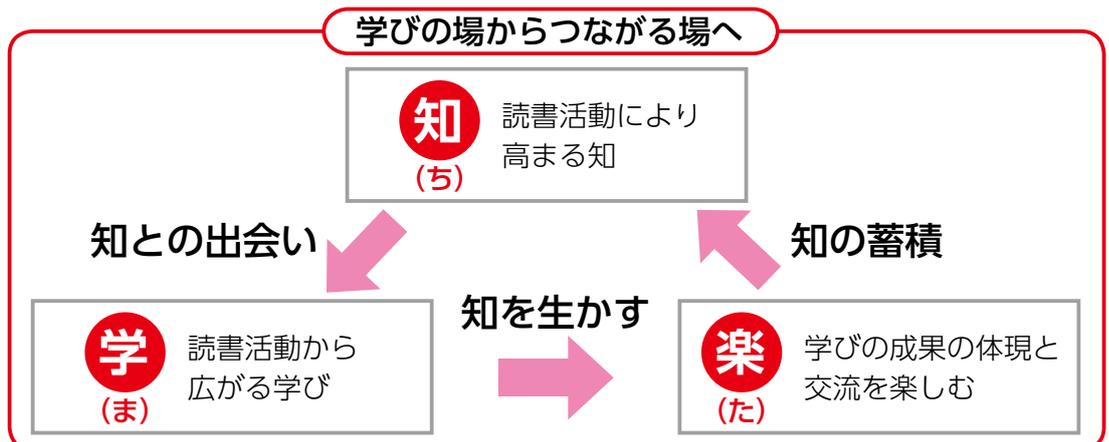
この基本理念は次の3つのコンセプトから成り立っています。

- ① 読書活動により高まる知 …「知る」(知・ち)
- ② 読書活動から広がる学び …「学ぶ」(学・ま)
- ③ 学びの成果の体現と交流を楽しむ…「楽しむ」(楽・た)

※キーワードとなる「知る」「学ぶ」「楽しむ」を示す「ち・ま・た」は、道の分岐・交差点を意味する言葉「ちまた」につながり、古くから交通の要衝として栄え、街道文化が花開いた亀山の地で、さまざまな情報が集まり、人と人が語らう場をイメージするものです。



## ～3つのコンセプトから成り立つ基本理念～



## 新しい図書館の整備に向けて

### 亀山市全体の文化と教育力の向上

基本理念を実現し、学びとまちづくりの核となる図書館とするために、次の3つを整備拡充の基本方針とし、市全体の文化と教育力の向上をめざします。

#### (1) 子ども・青少年の育みを支え、見守る読書活動

図書館は、子どもの「生きる力」を育む読書活動を支え、子育てを応援するための情報と空間を提供します。同時に、若い世代の居場所空間となります。

#### (2) 知との出会いとその蓄積の場の創出

図書館は、誰でも、いつでも資料を利用できることが保障されていなければなりません。また、さまざまな知の蓄積を活用した市民の学びや創造活動の成果は、新たな知として蓄積されていきます。

#### (3) 市民の誰もが集える場の創出

図書館は、すべての市民に等しく読書サービスを提供しなければなりません。市民一人ひとりの学びへの思いに応え、そこから市民が夢を語り、さまざまなまちづくりへ結びつけていきます。



### 新しい図書館の望ましい環境

新しい図書館が十分に機能するための、望ましい環境のおおよその目標は次のとおりです。

- 新しい図書館では延床面積(附属施設を含む)3,300㎡(現在の図書館は延床面積958㎡)
  - 最終的な蔵書数は約24万冊(現在の図書館は蔵書数約16万冊)
- また、多様な学びとまちづくりに応えるために、次の内容についても検討します。
- 飲食が可能なスペースなど、多機能的な附属施設を融和させた複合的施設としての整備
  - 駐車場、周辺環境や景観にも配慮した総合的な整備方法、運営体制の拡充

### 図書館の立地方針

現在の図書館は亀山公園内にありますが、敷地が狭く公園内の配置もあって現在地での拡充は大きな困難が生じます。このため、整備拡充のために移転新築を図ることとし、移転先には次の視点を要件としました。

- ①生活拠点の集中域であること
- ②公共交通機関の利便性が高いこと
- ③市の立地適正化の方向性と整合していること
- ④図書館機能に関連付けられる施設や機能が近在していること
- ⑤附属施設も含めた一定規模の用地が担保できること



この要件に見合い、従来の図書館機能と併せて読書活動と市民の交流によるまちづくりが、「市民力・地域力が輝くまちづくり」を進める市全体の将来都市像につながり、亀山市の中心的都市機能の再構築を図るJR亀山駅前再開発事業とも意図が合致することから、図書館をJR亀山駅前へ移転整備することを市教育委員会の方針としました。

### 今後の進め方・整備のスケジュール

図書館整備に向けて、図書館整備推進にかかる委員会やワークショップの開催などで、市民による合意形成の上で決定していくことを基本とします。

今後は、新しい図書館に求められる空間、附属施設・駐車場を含む施設計画、開館日数・時間や運営形態などの管理運営体制、関図書館の在り方を含む地域ごとの読書活動拠点整備などの検討を進めていきます。

整備のスケジュールについての詳細は今後決定していきますが、平成34年4月の開館をめざして、まずは平成30年夏をめどに整備基本計画の策定を進めていく予定です。



### <おわりに>

新しい図書館が「あの図書館があるから亀山市で暮らしたい」と地域の誇り・愛着となるように、皆さんと一体となって図書館整備を進めていきます。

今後も、図書館整備の取組状況やワークショップの開催などについて、広報かめやまや市立図書館ホームページなどでお知らせしていきます。

※亀山市立図書館整備基本構想は市立図書館ホームページでご覧になれます。



亀山市立図書館整備基本構想に関する市立図書館ホームページへ